

第 2 回 北海道函館高等支援学校

入学式 式辞

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、さぞかしお喜びのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

新入生の皆さんは、北海道函館高等支援学校 第二期生として、ただ今、入学が許可されました。皆さんが、本校への進学を選択・決定していただきましたことに、私は全職員を代表して心より感謝申し上げます。

ところで、本校の校訓は、「探究」「協働」「健全」です。これは、皆さんにとって身に付けるべき力でもあります。

- ① 「探究」とは「学ぶこと、働くこと、生きることを生涯にわたって探究する人間」
- ② 「協働」とは「多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間」
- ③ 「健全」とは「生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間」

という人間像として意味づけています。

これらは、3年間の高校生活だけで身につく力ではありません。卒業してからも、生涯にわたってこつこつと積み重ねて身に付けていくべき力です。そして、本校の学校教育目標である「共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間」を目指してほしいと願います。

「共生社会」とは、誰もが積極的に参加・貢献していくことができる社会のことです。それは、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあい、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会であります。本校在学中は、卒業後に社会で生活するということを強く意識して、一人一人が目標をもって勉学に励み、志高く、充実した学校生活を過ごしてほしいと思います。

原則的には学校は楽しいところであるべきです。しかし、同じ楽しいところでも遊園地で遊ぶこととは違います。遊園地では、その時間だけ楽しく遊べば幸せであり、自分自身の努力は必要ありません。でも、日々の学校生活を充実させるためには、自分自身の努力も必要となってきます。その時々楽しさも喜びも、つらさも悲しさも悔しさも、全て「学ぶこと」、「生きること」となり社会に出て「働くこと」のためにつながっているのです。

皆さんの中には、「そんなことは、自分にはできないかもしれない。自信がないな。」と思っている人もいるかもしれません。一人ではできないかもしれませんが、一緒に入学した仲間、そして先生方と「共に分かり合い、感じ合い、支え合う」関係性を大切にすることにより、決して一人ではないことを覚えておいてください。

さて、保護者の皆様、今日からお子様を3年間、本校でお預かりし、立派な社会人として社会に送り出せるように、我々職員一同がチームとして全力で指導に取り組めます。その間、保護者の皆様と我々職員は、家庭教育と学校教育においてお子様の教育を分担して責任を担うこととなります。そのためには、保護者の皆様と我々職員との信頼関係を基盤とした連携がとても大切になります。本校の教育活動と指導についての御理解と御協力をお願いいたします。些細なことでもよろしいですから、何かございましたら御遠慮なく学

校に御連絡や御相談をいただきたいと思います。我々職員一同、誠心誠意、懇切丁寧に対応させていただきます。

結びになりますが、第2期生26名の今後の学校生活が充実すること、そして、それが卒業後の社会生活へつながり、全員が笑顔で3年後に卒業できることを願って式辞といたします。

令和2年4月10日

北海道函館高等支援学校

校長 立 田 俊 治